

# 【砂防施設効果事例】<sup>おとし</sup>乙石川遊砂地(朝倉市<sup>あさくら</sup>杷木<sup>はき</sup>松末<sup>ますえ</sup>)

災害発生日：令和2年7月7日  
降雨状況：連続雨量 614mm (7月5日18時～8日13時)  
時間最大雨量 57mm (7月7日4時～5時)

※<sup>ますえ</sup>松末小学校雨量観測所

発生箇所：<sup>ふくおか</sup>福岡県<sup>あさくら</sup>朝倉市<sup>はき</sup>杷木<sup>ますえ</sup>松末

捕捉土砂量：約16,000m<sup>3</sup>

状況：平成29年7月九州北部豪雨以降、流域内に残存する不安定土砂等の再移動による二次災害防止・軽減。ブロック堰堤や遊砂地、強靱ワイヤネット等の緊急的な応急対策を実施。

7月5日から的大雨により、大量の土砂が流出したが、遊砂地をはじめとする応急対策が、大量の土砂を捕捉。下流への被害を防止。

位置図



全景



土砂捕捉前 (R2. 6. 2撮影)



土砂捕捉後 (R2. 7. 8撮影)



# 【砂防施設効果事例】赤谷13砂防堰堤(朝倉市杷木松末)

災害発生日 : 令和2年7月7日  
降雨状況 : 連続雨量 614mm  
(7月5日18時~8日13時)  
時間最大雨量 57mm  
(7月7日4時~5時)  
※松末ますえ小学校雨量観測所  
発生箇所 : 福岡県朝倉市杷木松末  
捕捉土砂量 : 約1,000m<sup>3</sup>  
状況 : 7月5日からの大雨により土砂流出が発生したが、令和2年3月に完成した砂防堰堤で捕捉。下流地区への被害を防止。

位置図



全景



土砂捕捉前 (R2. 5. 28撮影)



土砂捕捉後 (R2. 7. 8撮影)

